

中学校美術第2・3学年「学校の授業における学習活動の重点化」年間指導計画参考資料

資料のご活用にあたって

- ・本資料の配当時間数は、開隆堂出版株式会社ホームページにて公開しています「年間指導計画(案)」で示している配当時間のうちの最も長い時間数を設定しております。指導計画の作成に当たっては、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。
- ・当該学年で取り扱う内容について、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせて取り上げたりするなどの配慮が必要となります。
- ・上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをするなどの配慮が必要となります。

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
他人と違っていること、他人と同じであること 美術を通して学ぶ大切なこと	2~9	1	草間彌生の作品や富士山を対象にした作品を主體的に鑑賞し、「他人と違っていること」、「他人と同じであること」の意味を考え、自己への自信や他者への共感、自他の文化の理解など美術の学習における意義や重要性について主體的に考え理解を深める。	○作品を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	0.5
美術はいつも生活や暮らしの中に	10・11	1	美術の学習を通して身につけた力を社会で生かしている人の言葉から、生活の中に生かす美術の意味について考える。	○美術の学習が生活の中にどのように役立っているのか考える。 ○美術の学習が生活の中にどのように役立っているのか資料を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載例を見ておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	0.5
わたしの「みち」 「みち」に思いを込めて	12~17	5	「みち」のある風景を深く見つめて考えたことなどから、表現方法を工夫して「みち」に込めた思いを主體的に表現する。	○「みち」のある風景を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生み出す。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・感染症対策に配慮しながら、可能な範囲で「みち」のある風景を見つめて感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても可能。(0.5)	—	—	4
劇的な瞬間を描く	18・19	5	レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を鑑賞することにより、作品の意味、作者の心情や意図を考えながら、遠近法やその他の技法などの理解を深める。	○作品を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	4.5
ルネサンスの美術 人間再発見と科学の時代	20・21	1	ルネサンスの美術について鑑賞することにより、作品の意味、作者の心情や意図を考えながら、ルネサンスの芸術や時代背景などの理解を深める。	○作品を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	0.5
原寸ギャラリー レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」	22・23	1	レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」を鑑賞することにより、作品の意味、作者の心情や意図を考えながら、遠近法やその他の技法などの理解を深める。	○作品を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	0.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
自分と向き合う 自分を見つめ、表そう	24~27	6	自分自身をよく観察し、特徴をとらえたり、気に入っている姿を強調したりして、さまざまな表現方法を用いながら、今の自分を主体的に表現する。	○自分を深く見つめ、感じ取ったこと、考えたことなどをもとに、主題を生み出す。 ○主題をもとに、自分の表現意図に合う構図、色彩などを検討し、自画像の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・アイデアスケッチに描いたり、自分自身の思いをノートに書きとめたりする。自分の表情を鏡で確認したり、自分の写真を観察することは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)			4.5
空想からの表現 心の世界を描こう	28~31	4	空想や想像の世界を広げたり考えたりして、さまざまな表現方法を用いながら感じ取ったことや考えたことなどを主体的に表現する。	○イメージをふくらませて空想や想像の世界を広げたり考えたりして、主題を生み出す。 ○主題をもとに、自分の発想したことや物語から表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり自分の体験をもとに大まかな構想をアイデアスケッチにまとめたりすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)	—	—	2.5
版画の世界 刷り取られた美しさ	32~33	4	さまざまな版表現を理解し、版に表すことよさや効果を学び、工夫を重ねながら発想や構想を深めて表現する。	○版画作品を鑑賞し、感じ取ったことや考えたことについて書きとめる。 ○版の特性や効果などから主題を生み出し、構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、下書きや大まかな構想をアイデアスケッチを描いたりすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)	—	—	2.5
形や色彩からのメッセージ 抽象表現を楽しむ	34~37	4	主題などをもとに想像力を働かせ、単純化や省略、強調したり、思いつくままに表現したりするなどして抽象的な表現を主体的に行う。	○抽象表現の作品を鑑賞し、単純化や省略、強調したり、思いつくままに表現したりするなどの抽象的な表現について考えたことから主題を生み出す。 ○主題をもとに、抽象的な表現を生かして、構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、大まかな構想をアイデアスケッチに描いたりすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)	—	—	2.5
絵巻物の世界 むかしむかしのアニメーション	38~43	4	我が国の美術文化の一つである絵巻物などの物語表現を理解し、そのよさや効果を学び、工夫を重ねながら発想や構想を深めて表現する。	○絵巻物などの物語表現を鑑賞し、感じたことや考えたことを書きとめる。 ○絵巻物などの物語表現の特性や効果をもとに、表したい主題を生み出す。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、発想や大まかな構想をアイデアスケッチに描いたりすることは学校の授業以外の場において実施可能。(1)			2.5
モノトーンの美しさ 水墨画の世界	44~45	4	東洋の美術文化の一つである水墨画の表現を理解し、そのよさや効果を学び、工夫を重ねながら発想や構想を深めて表現する。	○水墨画の作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを書きとめる。 ○水墨画の特性や効果をもとに、表したい主題を生み出す。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、発想や大まかな構想をアイデアスケッチに描いたりすることは学校の授業以外の場において実施可能。(1)			2.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
原寸ギャラリー 長谷川久蔵「桜図」	46・47	1	造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを原寸大の図版から主体的に感じ取り、美術文化に関心をもつ。	○作品を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)			0.5
伝統の美に学ぶ 江戸のデザインセンス・琳派の造形	48～51	4	日本の美術文化に影響を与えた琳派の造形のよさや美しさを味わうとともに、和の造形感覚を生活の中に生かす表現について学ぶ。	○琳派の造形のよさや美しさ、構成や装飾について感じ取ったり考えたりしたことについて書きとめる。 ○琳派の表現の特徴から、形や色彩、図柄などの構成や装飾を考え、表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、大まかな構想をアイデアスケッチに描いたりすることは学校の授業以外の場において実施可能。(1)	○共同制作について、学校全体や学年、クラスで意見を出し合い、主題を生み出す。 ○協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作のすばらしさを味わう。	1	2.5
ゴッホと日本	52・53	4	ゴッホの作品を鑑賞することにより、作品の意味、作者の心情や意図を考えながら、日本美術がゴッホに与えた影響などに理解を深める。	○作品を鑑賞する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	3.5
環境と響き合う形 空間や材料を生かして	54～57	5	空間や材料から受けるイメージを大切に、想像力を働かせ、単純化や省略、強調をするなどして環境を意識した抽象的な立体表現を主体的に行う。	○環境や空間を意識した抽象的な表現から感じ取ったことや考えたことを書きとめる。 ○空間や材料から受けるイメージを大切に主題を生み出し、構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、大まかな構想をアイデアスケッチに描いたりすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(1)	○共同制作について、学校全体や学年、クラスで意見を出し合い、主題を生み出す。 ○協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作のすばらしさを味わう。	1	3.5
人の形に込めたもの 動きや空間を表す彫刻	58～61	6	人体をよく観察し、人体のもつよさや美しさを感じ取り、生き生きとした一瞬の姿をまわりの空間を意識して主体的に表現する。	○人体をよく観察し、感じ取ったこと、考えたことなどをもとに、主題を生み出す。 ○主題をもとに人体の動きや空間を意識して、構図、色彩などを検討し、構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・人体を観察してクロッキーに表したり、大まかに構想をアイデアスケッチに描いたりすることは学校の授業以外の場において実施可能。(1)			4.5
祈りの造形	62・63	1	仏像のもつ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取り、美術文化に関心をもつ。	○仏像を鑑賞し、感じたことや考えたことなどをまとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)			0.5
デザインする心 暮らしや気持ちを豊かにするデザイン	64～69	1	暮らしの中にあるものをデザインの視点で見つめ直し、目的や条件などをもとに形や色彩を簡潔化するなどで構成や装飾を考え、作品を主体的に表現する。	○暮らしの中にあるものをデザインの視点で見つめ直し、暮らしや気持ちを豊かにするデザインについて感じ取ったことや考えたことを書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	—	—	0.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ ④の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
デザインで伝える 広がるコミュニケーションの世界	70~77	6	伝えたい内容を印象的にわかりやすく伝えるために、形や色彩などの効果を工夫するなど伝達のデザインの方法を学び、主体的に表現する。	○伝えたい内容を印象的にわかりやすく伝えるデザインを鑑賞し、伝達のデザインの方法について考える。 ○伝えたい内容を多くの人に、伝えるために形や色彩の効果を生かした美しい表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・目的や機能と調和のとれた洗練されたデザインを調べることや、自分の発想や大まかな構想をマインドマップに表したり、アイデアスケッチを描いたりすることは学校の授業以外の場において実現可能。(1.5)	○ブレインストーミングなど、グループで発想を広げる活動。	0.5	4
つながるデザイン やさしさを形と色彩に込めて	78・79	2	用途や機能を考えてデザインすることの意味を総合的に学び、主体的に表現する。	○用途や機能を考えたデザインを鑑賞し、使用する者の気持ち、用途や機能などについて考える。 ○使用する者の気持ちや機能、造形的な美しさなどを考えて表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・使用する者の気持ちや機能、造形的な美しさなどをもとに、自分の発想や大まかな構想をアイデアスケッチを描くことは学校の授業以外の場において実現可能。(0.5)			1
環境をデザインする 心豊かになる空間	80~83	5	心が豊かになる建築物や空間をデザインすることの意味を総合的に学び、主体的に表現する。	○心が豊かになるような建築物や空間について考える。 ○目的や用途から発想して、空間や部屋の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・心が豊かになる空間デザインを調べることや、マインドマップなどにより自分の発想や構想を深めてみたり、大まかな構想をアイデアスケッチを描いたりすることは学校の授業以外の場において実現可能。(1)	—	—	3.5
光と明かり 美しい空間を演出する	84~87	4	空間を演出する光や明かり、映像に関心をもち、主体的に表現する。	○光や明り、映像の演出により、作品や空間の雰囲気や印象が変わることを理解し、その具体的な効果について考え、書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)	○共同制作について、学校全体や学年、クラスで意見を出し合い、主題を生み出す。 ○協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作のすばらしさを味わう。	0.5	3.5
木でつくる工芸 生活に生かす、材料を生かす	88・89	4	材料のよさや美しさを生かして、生活の中で使用するものを主体的に表現し、機能的なよさや美しさを学ぶ。	○木でつくられた工芸品を鑑賞し、木の特性やよさなどを考えて書きとめる。 ○木の特性やよさを生かした生活の中で使用するものについて構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・木の特性やよさを生かした生活の中で使用するものについての構想をアイデアスケッチを描くことは学校の授業以外の場において実現可能。(1)			2.5
人がつくる、技を極める 技と心を伝える日本の伝統工芸	90~95	4	我が国の伝統工芸のよさや美しさに関心をもち、機能を考えながら材料や用具の特性を生かして主体的に表現する。	○伝統工芸を鑑賞し、よさや美しさなどについて考えて書きとめる。 ○使用する者の気持ちや機能、材料自体や作品がもつ造形的な美しさなどを考えて表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して目的や機能などについて考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5) ・使用する者の気持ちや機能、材料自体や作品がもつ造形的な美しさなどを考えて、大まかな構想をアイデアスケッチを描くことは学校の授業以外の場において実現可能。(1)			2.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
生きることと美術	96～98	1	ゴームリーなどの現代美術作品を主体的に鑑賞し、作者の心情や意図と作品の意味を感じ取ることにより、私たちの生命、世代の継承・世代間の責任、社会の課題、他者との共生などのさまざまな問題について考える。	○作品を鑑賞し、作者の心情や意図について考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じたことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場において実施可能。(0.5)			0.5
ゲルニカ 美術を通して私たちが学ぶこと	99～102	1	ゲルニカを主体的に鑑賞し、作者の心情や意図と作品の意味を感じ取り、見方を深め、芸術表現の意味を考えるとともに、鑑賞による学びを今後の行動に生かすことについて考える。	○作品を鑑賞し、作者の心情や意図について考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	0.5